



オビこ

No. 89

令和8年

4月

編集・発行：社会福祉法人 五城目町社会福祉協議会

五城目町西磯ノ目一丁目6番地10 TEL.018 (852) 5192 FAX.018 (879) 8367

赤い羽根共同募金地域福祉活動助成事業



サロンたんぽぽ会（富津内地区：落合町内会）



ミニゲームの様子

サロンたんぽぽ会は、落合町内の女性達が長年続けてきた会です。令和6年4月に百歳近い方々が引退されてしまいましたが世代交代し、内容をリニューアルして活動を続けています。

毎月5日に、中津又コミュニティセンターに集まり、夏は花壇の手入れをしながら、冬はゲームなどを楽しみながらおしゃべりに花を咲かせています。

今年度は、赤い羽根共同募金地域福祉活動助成事業を活用し、花壇の手入れに使う手袋を新調したり、高齢会員の卒寿の誕生会で、一人暮らしでは作る機会の少ないシチューと稲荷ずしをみんなで作ってお祝いしました。

夏の猛暑や熊騒動など、みんなが集まるのが難しいときもありましたが、共同募金のおかげで、1年間楽しいサロン活動ができました。写真は「来年もみんなで頑張るぞー」のポーズです。ありがとうございました。

この広報は、社協会費や日赤会費・共同募金からの配分金で発行しております

【求人情報】

◆訪問介護職員(パート)募集します◆

- ▶雇用形態 パート(若干名)
- ▶給与 時給 1,071円～
※処遇改善手当 19,683円～30,000円
※交通費、資格手当、休日勤務手当
- ▶勤務時間 8:30～17:15(応相談)
- ▶休日 勤務シフトによる
- ▶資格等 介護職員初任者研修終了者以上
※履歴書を添えて申し込みください。
- ▶お問合せ 五城目町社会福祉協議会
介護課訪問介護係 伊藤まで
(☎852-5192)

五城目町社協のお仕事【介護の案内と相談】

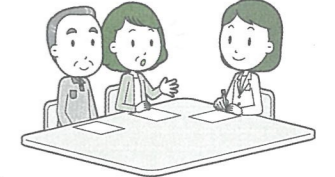
◆介護事業の案内◆

本会では、「居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問看護事業、障害者総合支援事業、輸送サービス事業、障がい者移動支援事業」の介護事業を提供しています。



◆介護の相談◆

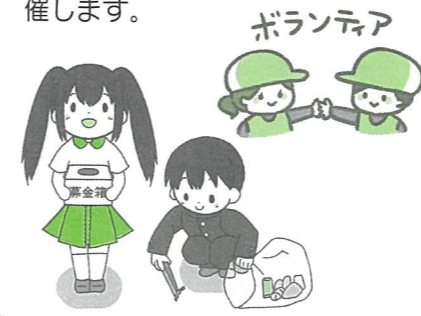
本会では、様々な資格を持った経験豊富なケアマネジャーが対応します。(社会福祉士・看護師・介護福祉士) 介護に関することで、お困りの方はお気軽にご相談ください。(☎852-5192)



五城目町社協のお仕事【事業紹介】

◆ボランティア研修会◆

町民のボランティア意識の向上と新たな担い手を育成し、ボランティアの普及啓発や機運の醸成を目的に、ボランティア研修会を開催します。



◆日常生活自立支援事業◆

判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービス利用援助を基本に、専門員と生活支援員が日常的な金銭管理や書類等の預かり支援などのサービスのお手伝いをします。



◆子育て支援生活援助事業◆

五城目町に居住していて、母子手帳の交付を受けた方で、近くに支援をしてくれる人がいない妊婦期や産後1年未満の間の世帯を対象に、炊事や洗濯などの生活援助をし、利用料の2分の1を負担します。



頭の体操 ナンプレ 解答

9	8	6	1	2	3	4	7	5
2	1	7	5	8	4	9	3	6
4	3	5	9	7	6	8	1	2
6	7	8	2	4	1	3	5	9
3	9	4	7	6	5	1	2	8
5	2	1	8	3	9	6	4	7
7	5	3	6	1	8	2	9	4
1	6	2	4	9	7	5	8	3
8	4	9	3	5	2	7	6	1

※次回の問題は、令和8年7月号予定

地域の福祉活動を広げるため「小地域会議を開催」

本会では、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らすことのできる地域づくりを進めるため、町内会長、民生委員、福祉員の連携を強化、地域の要援護者の把握や見守り体制の構築など、地域課題について話し合う小地域会議を開催しています。

令和7年12月1日の民生児童委員改選により、変更があった町内会を対象に実施しています。今後も町内会へ出向き、町内会長、民生委員、福祉員と連携し、町内会の現状把握に努めます。



小地域会議の様子

編集後記

● 昨年を上回る大雪で、毎日の除雪で心身ともに疲れ、「いつになったら雪が落ちつくのだろう」と思ってしまうほどでした。気が付くと雪も溶け、春の日差しが心地よい季節になっていました。

● 社協だより「まごころ」第89号をお届けすることができました。これからも、みなさんのご意見をお待ちしております。広報編集委員長 千田 常己

みんなの善意

寄付金

- 12月11日 14,820円
- 五城目第一中学校同窓会
- 2月27日 19,700円
- シェアプレッツ株式会社



千代田区親子ツアー内の五城目朝市店売上金を寄付

※令和7年11月5日から令和8年2月27日までに、皆様から寄せられた善意は、地域福祉活動に大切に活用させていただきます。※敬称は略させていただきます。



1/22 馬川地区



1/26 五城目地区



1/29 内川地区



1/23 富津内地区



1/27 馬場目地区



1/23 森山地区



1/28 大川地区

1月22日から29日の期間で、福祉員活動の再確認と意見交換の機会として、全町7地区で福祉員会議を開催しました。会議に参加した福祉員からは、「今年は熊の出没が多かったため、気軽に外に出てひとり暮らし高齢者などに、声掛けが出来なかった」などの意見が多く寄せられました。

福祉員会議「福祉員の役割等を再確認」

意見交換の内容

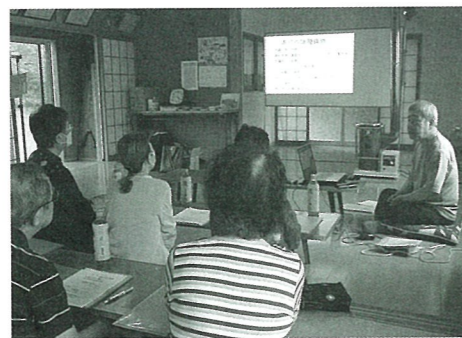
●今年熊の出没が多く、町内会で柿の木や栗の木の枝切りを行ったときに、空き家の所有者に連絡がつかない。町に聞いても、個人情報保護法を理由に教えてもらえず困っています。
●水害後、町内の状況を把握するために民生委員と話し合い、9月から2カ月ごとにサロン活動を始めました。



頭の体操 ナンプレ

9x9 grid with numbers for a puzzle

※解答は最後のページ



講習会の様子

今年度、この助成金を活用できたことで、住民ひとりひとりの防災意識を高めることができました。

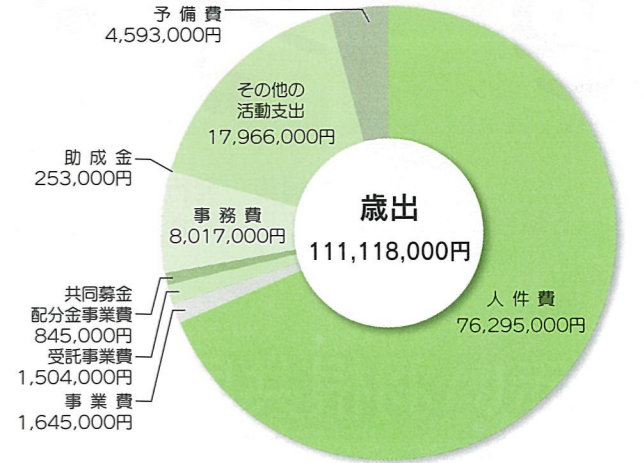
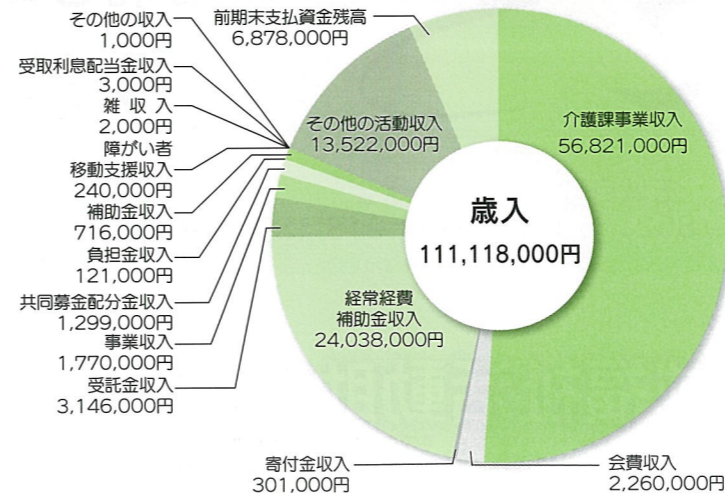
地域支え合い仕組みづくり事業「昭辰町町内会」 「地震災害に備えて」防災意識を高める

昭辰町町内会では、令和5年7月の大雨災害以降、町内会の防災意識を高めるために、住民が安心して生活できる町内会を目指し、町内会役員をして川村公一さんを講師に「地震災害に備えて」と題した講習会を行いました。

講習会では、講師の川村さんが「地震のメカニズムや秋田県の地震活動」等について、丁寧にわかりやすく説明され、これから起こるかもしれない大地震の備えについて学びました。特に「水害は事前に予測ができるが、地震はいつ起こるか分からないことから、普段から過去に起きた災害の教訓や経験知を学び、地震に対する理解や事前準備、心構えが必要」と話されていたことが、印象に残りました。

令和8年度 主な事業と予算

予算総額 111,118,000円



基本方針1

福祉のまちづくりに向けた協働活動の強化

- ①地域支え合い仕組みづくり事業
②除雪機、物品、送迎車両貸し出し
③福祉員の活動強化
④福祉関係団体の育成
⑤小地域ネットワーク
⑥敬老福祉の集い
⑦社会福祉功労者表彰
⑧学校福祉教育推進事業
⑨ボランティアの養成、活動支援
⑩災害ボランティアセンターの運営
⑪赤十字防災等事業への協力

基本方針2

福祉サービスの推進と相談支援体制の強化

- ①ひとり暮らし高齢者訪問事業
②ミニデイサービス
③おむつ費用助成
④給食サービス
⑤ふれあいサロン
⑥屋内ゲートボール場の運営
⑦居宅介護支援事業
⑧訪問介護事業
⑨障害者総合支援事業
⑩輸送サービス事業
⑪障がい者移動支援事業
⑫訪問看護事業
⑬生活福祉資金貸付事業
⑭たすけあい資金貸付事業
⑮相談体制の整備
※福祉サービスの苦情対策
※健康相談
※総合相談体制整備（心配ごと相談所）
⑯日常生活自立支援事業
⑰成年後見制度利用促進
⑱子育て世帯支援

基本方針3 経営基盤・組織の強化

- ①会費の拡大による会員増収
②共同募金委員会への協力
③赤十字会費への協力
④社会福祉基金運用管理
⑤理事会・評議員会委員会の適正開催
⑥行政機関との協議
⑦職員研修の受講
⑧役職員研修
⑨避難訓練・救急救命講習
⑩社協だより発行・ホームページの配信

地域支え合い仕組みづくり事業の募集

●事業のねらい
子供から高齢者まで地域住民で「豊かな福祉のまちづくり」を進めることをねらい、町内会等を指定し、その地域における実践活動を通し、地域課題の解決に向け、住民が主体的に取組む仕組みづくりを進めることを目的に支援しています。
●補助額 50,000円(募集数5ヶ所)
●経費基準 報償費、旅費、需用費、通信運搬費、使用料、賃借料、負担金など
※詳細は、社協ホームページ又は、社協へお問合せください。

赤い羽根共同募金地域福祉活動助成事業の募集

◆事業のねらい
町民の誰もが、安全で安心して暮らせる「地域共生社会」の実現に向け、地域住民が主体的に参画し、継続的に地域課題の解決に取り組む事業に助成します。
◆対象となる団体
町内会・ボランティア団体・老人クラブ等社会福祉を目的に事業を展開する団体
◆補助額 1事業30,000円(募集数10団体)
※詳細は、社協ホームページ又は、社協へお問合せください。